※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解　歴史総合（帝国書院）						
副教材等	新歴史総合研究ノート（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に、近代以降の世界・日本の歴史を、「近代化」・「大衆化」・「グローバル化」の３つの観点から横断的かつ主体的に学習する。世界と日本の緊密な結びつきと歴史の流れ・動きを学び、世界・日本は今後どのような方向にむかって動いていくのかを、考察する多面的・多角的な歴史的思考力を身につけてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
16 世紀以降を中心として、各時期の世界全体を「グローバル化」という観点から基本的事項を理解できている。歴史の大きな動きと各時期の世界の諸地域や日本との結びつきを、複数の史料やグラフを活用し、読み解くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史そのものへの知識と理解、歴史に問いかけながら地理条件や国際環境に関する理解を踏まえて、
多面的・多角的に考察を深めることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
日本史と世界史の近現代史を通じて現代の諸問題に関する適切な判断力と態度を身につけている。
その上で複雑な現代社会の諸課題に主体的に対応しようとする日本国民としての資質・責務を自覚する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各時期における世界の諸地域の関係性や世界と日本の結びつき、各時期の歴史全体の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用して理解できている。	各時期における世界の諸地域の関係性や世界と日本の結びつき、各時期の歴史全体の動きに関する歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断･表現できている。	各時期における世界の諸地域の関係性や世界と日本の結びつき、各時期の歴史全体の動きに関して主体的に問いを立て、その問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第2章　江戸時代の日本と結びつく世界	・18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解させる。 ・18 世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 b：18 世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：前近代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第3章　欧米で生まれる国民国家	・産業革命と交通・通信手段の革新，工業化と世界史上の形成，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，欧米諸国の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	a：産業革命と交通・通信手段の革新，工業化と世界史上の形成，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b：産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，欧米諸国の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第5章　日本における近代国家の形成	・日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b：産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：19 世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
二学期	第6章　帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化	・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 ・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b：帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第2章　第一次世界大戦とその影響　・　第3章　大衆社会の形成と社会運動	・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察，表現させる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察，表現させる。	a：第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b：第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1910～1920 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第4章　揺らぐ国際秩序と日本の行方　・　第5章　第二次世界大戦とその影響	・世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解させる。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 ・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b：経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	第2章　冷戦で揺れる世界と日本	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解させる。 ・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現させる。	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。 c：1950～1970 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第3章　多極化する世界	・石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解させる。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。 b：アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1970～80 年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第4章　グローバル化のなかの世界と日本	・冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 ・冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現させる。	a：冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b：冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1989 年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度